



輝け!未来

矢野
やの・ひろと

弘登さん
地頭方小6年 地頭方区

将棋のおもしろさに惹かれています。
絶対にプロ棋士になりたい。

ぼくは小学校3年生のとき将棋に出会いました。それ以来テレビや本、新聞で見た棋譜を将棋盤に並べたり、学校のクラブ活動で友達と対局をしたりして、どんどん将棋のおもしろさに惹かれていきました。夏休みには、プロ棋士が来る2泊3日の合宿にも参加しました。将棋のおもしろさは、自分で考えて駒を動かすことです。ぼくは絶対にプロ棋士になりたいです。

▼今号11ページで青少年声掛け運動と軒先運動の参加者を募っている。青少年を地域で見守り、大人が積極的にあいさつなどをして声掛けをしていこうという取り組みだ▼わたしも朝、小学生や中学生にこちらから「おはようございます」とあいさつをした。子どもたちは少し恥ずかしそうな表情を見せながらも「おはようございます」と返してくれた▼こんなやり取りが始まる一日は気持ちがいい。まずはできることから始めてみることで何かが変わる。



▼牧之原市が誕生して、早5年。その間にさまざまな出来事、忘れることのない出来事が起こった▼合併から本市は、市民協働や企業立地の推進、陸、海、空の交通ネットワークの発展などによって、大きく羽ばたき始めた▼最近は何院の問題や景気低迷による税収減、大きな地震の発生などにより、羽を休めないといけない状態になってしまった▼けれども、元気になるうとして市民が、企業が、市役所がいる。これからも広報はその歩みを記していく。



ペンを置いてー編集後記